



を願います。

(事務局) (説明)

(会長) ご意見、ご質問はありませんか。

(多田委員) 多岐に渡る内容であるため、これらのすべての項目をコミスクとして地域に伝えることは難しい。プログラムごとに重要度はあるのか。芦屋市でも高齢化が進んでおり、地域での災害時における高齢者の支援については課題があると考えます。

また、南海トラフ地震が起きたときの芦屋市の浸水地域の啓発を積極的に行ってほしい。

(事務局) 事態の大きさや重要性により、各プログラムの重要度は分けているものの、基本的にはすべてが重要と考えていただきたい。これらすべてのプログラムが準備できて初めて、芦屋市の強靱化が達成できると考えています。

当計画における、地域に係る記載として、「地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態」を想定し、地域の防災力向上を図る内容を記載しています。災害時の高齢者の避難体制等については、現在策定を進めている地区防災計画において、具体的に定める予定です。

津波の浸水地域の啓発については、市で津波ハザードマップを作成しているものの、引き続き周知啓発を行っていく必要があると考えますので、地域の訓練やイベント等でも積極的に啓発を行っていきます。

(会長) 他にご意見、ご質問はありませんか。

無いようですので、これをもちまして「芦屋市強靱化計画（案）について」は、ご了承いただけたものとさせていただきます。

(会長) それでは、これをもちまして、審議を終了させていただきます。本日は、議事進行にご協力いただき誠にありがとうございました。

では、事務局のほうへお返しします。

(事務局) それでは続きまして、「その他」としまして、事務局より11月13日に実施した防災総合訓練と9月24日に実施した「災害に強いコミュニティ作りのためのシンポジウム」の報告をします。

(事務局) (報告)

(事務局) 以上をもちまして、平成28年度芦屋市防災会議を閉会とさせていただきます。

閉会